

予 祝

りかのひとりごと

2025年9月



令和4年の夏に、見方道という4泊5日の合宿で、天橋立、大阪、東京在住の3人の女性達と一緒に4人同部屋になりました。ほぼ同じ年齢だったこともあり、すぐにお友達になりました。ちょうど園舎改築を令和5年度以降に考えていた頃だったので、私はそんな話まで聞いてもらったりしました。

そして令和5年の夏、東京在住のお友達が古代文字を学んでいたのも、日程を合わせて3人で作品展を見に行きました。そしてその後、思いがけない贈り物が届きました。新園舎に飾ってね…と。それが写真にある古代文字の作品です。

私が驚いて「まだ改築の話すら進んでいないの」と言うのと「これは予祝の贈り物だから!」という明るいお返事でした。完成前ですが「完成してお目出度う」の気持ちを贈り、それが実現するという「予祝」を贈ってくれたのです。

工事は出来るのか? 資金調達は大丈夫なのか? 何もかもが「???」だったので、大きなパワーをいただき、とてもとても嬉しかったです。

徐々に青写真が完成していき、たくさんの方々のご協力のおかげで、ようやく完成に漕ぎつけましたが、ずっと自宅で、毎日話しかけたりしていました。そしてこの夏休みに、園長室前の廊下に飾りました。



天真爛漫



私達4人で「天・真・爛・漫」というグループ名だったので、絵もそういうタイトルにしました。4つの柱があるので、勝手にそう思っています(*^_^*)

都内の方は、いろいろな活動に羽ばたき、直接お会いすることはなくなりましたが、お元気で活躍されています。お二人の方とは毎年会うことが続いています。大変だった時に、すぐ近くにいる幼稚園の先生方はもちろんのこと、なかなか会えない友人達も応援してくれていたことは、本当に有り難いことでした。約3年間にわたる「嬉しく、楽しく、幸せな」改築期間でした♡